

田原市における 地域包括ケアモデル事業の取組 (地区医師会モデル)

田原市地域包括ケア推進室

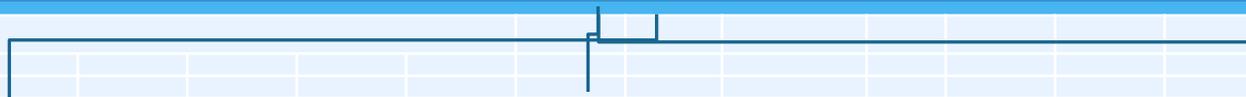
H29年3月23日(木)

豊橋市公会堂



キャベゾウ

田原市地域包括ケア推進協議会全体会議



医療介護連携部会

*活動方針

- 多職種連携研修会の開催
- 在宅療養支援者の質の向上研修会
- 医療介護連携ツールの推進
- 在宅医療・療養の市民へ普及啓発

認知症支援部会

*活動方針

- 認知症ケアパスの推進
- 認知症初期集中支援チームの設置
- 認知症家族の支援と交流会の開催
- 認知症の市民への普及啓発
- 認知症サポーター養成講座の拡大

生活支援部会

*活動方針

- 高齢者居場所づくり(サロン・予防教室の充実)
- 住民ボランティアの養成
- 生活支援あいネットの紹介拡充
- 地域見守り体制・協力事業者の拡大
- 住まいのあり方の検討

1 医療と介護の連携における 取組状況

- * 医療介護連携会議 毎月開催→ 各月開催
- * 介護保険事業者連絡会との連携→3師会の参加
- * 多職種連携研修会→ 開催後の懇親会
- * 質の向上研修会→ 毎回30~40人参加
- * 普及啓発→ 講演会開催 出前講座開催 マップ
- * 苦勞したこと
- * 情報の共有のための東三河電子連絡帳普及啓発

多職種研修(事例検討)



多職種連携研修(発表)

田原市在宅医療推進のための多職種連携研修会



介護保険事業者連絡会



医療介護質の向上研修



市民講演会

田原市地域医療・介護を考える講演会
主催：田原市・田原市地域医療ケア協議会 協賛：田原市医師会・田原市歯科医師会田原市薬剤師会・田原市介護保険関係事業者等連絡会

平成29年度田原市市民講演会
平成29年1月29日(日)14:00~15:30
森岡文化会館

認知症なんかこわくない
~認知症とともに幸せに生きる~

水野 裕(いまいせ心療センター)

「認知症なんかこわくない」
認知症とともに幸せに生きる
講師 いまいせ心療センター
水野 裕 先生



2 予防の取組状況

- * 介護予防リーダー連携会議を開催・教室参加
 - * 社会福祉協議会との予防教室の検討
 - * JA愛知みなみとの連携及び教室の開催
 - * 歯科医師・薬剤師の教室への参加
-
- * 課題 介護予防リーダーの高齢化が進み
 - * 若い年代への人材育成ができていない。

介護予防教室



社会福祉協議会との連携



歯科医師の講話



薬剤師出前講座



3 生活支援の取組状況

- * 生活支援部会の立ち上げ
 - * 第1層の生活支援コーディネーターの配置
 - * 社会福祉協議会の福祉コーディネーターとの連携会議の開催
 - * 生活支えあいネットの普及啓発
 - * 東部校区のまちづくり計画に認知症対策を取り込んでもらった。
 - * 中学校を巻き込んだ多世代研修会の開催
- 課題** ボランティア等の人材確保が進まない。
- * 第2層のコーディネーターの人材確保が難しい。
 - *

生活支援部会



多世代研修会



4 住まいの取組状況

- * 持ち家率の高さ
- * 自分の家に住み続けたい(アンケートより)
- * サービス付き高齢者住宅の視察
- * シルバーハウジングの待機状態の確認
- * 独自の高齢者宅のリフォーム補助の増加
- * 生活支援ハウス・多機能ハウスの待機状況の把握
- * **課題 街づくり推進課や住宅担当者との連携を図る**

5 認知症への取組状況

- * 認知症地域支援員を高齢者支援センターの設置
 - * 認知症支援部会の立ち上げ
 - * 認知症初期集中支援センターの設置(直営)
 - * 認知症カフェの開始
 - * 認知症ケアパス及びダイジェスト版の作成・配布
 - * 徘徊高齢者事前登録の増加
 - * 認知症サポーター養成講座の学生への拡大
- 課題 市民への認知症に対する周知啓発活動**

集落出張相談所



認知症カフェ



シルバー人材センター研修



モデル事業3年間の全体振り返り

- 1年目は在宅医療連携拠点事業(医務国保課)を兼ねていたの
で、医療と介護の連携を中心に実施した。
- * 特に3師会の協力依頼のため各会長に何度も訪問した。
- * 会議や研修の後は、顔の見える関係づくりに懇親会を開催した。
- * 2年目は、介護予防に焦点を当て、介護予防リーダーとの連携
や高齢者支援センターに認知症地域支援員を配置し、住民を
巻き込んだ施策をとった。
- * 3年目によりやく住まいを視野に入れた生活支援を、検討するこ
とができた。
- * 1年目はモチベーション高く、フットワークも軽く事業ができた。
- * 2年目は事業の進捗状況を見て、動くことができた。
- * 3年目はまだまだ出来ていない事に焦りを感じ、事業の基礎は
何とか出来たと思い、今後に期待をかけている。

取り組み状況に関する 関係機関の感想

田原市医師会……会議・研修会が多数あって大変だったが、勉強にもなった。今後どのような協力が出来るか課題。

田原市歯科医師会……事業の参加により会員が訪問歯科診療の必要性を出来た。

田原市薬剤師会……市民向け出前講座に複数の会員が参加協力でしたことで継続していきたい。

田原市介護保険事業所……研修会等を通し、医療特3師会との垣根が下がった。

渥美病院……多職種連携により、院内で歯科医の診察が可能になった。
訪問看護ステーション……色々な研修会を通し、顔の見える関係が構築できた。

社会福祉協議会……医療・介護の連携は進んだ。これからは生活支援をメインに進めていきたい。

今後に向けての対応・取組み

- * 市として何を目指すのか**目的の明確化と再確認**
- * これからのロードマップの作成
- * **地域**をさらに巻き込むために**協力体制の構築**
- * (特に関係団体との交渉力が重要)
- * 継続できる体制のため**計画的に人材育成を検討**

地域包括ケアシステム構築に向けて の市民への問いかけ

- * 自分に何ができるのか？
- * みんなと何ができるのか？
- * このまちでどう過ごしたいか考えてみましょう！！

地域包括ケアシステム構築に向けて の田原市の提言

- *個人は、自立可能な90歳を目指し
皆は、誰もがいつまでも尊厳を持
ち安心して住み続けられるまちづく
りを目指し、市は地域を巻き込ん
だ仕組みを作ります。

地域包括ケアシステム構築に取り組む 市町村に対する提言 (キーワード)

- * 庁舎内の担当部署の**明確化**。
- * **ロードマップ**の作成
- * **とにかく地域に足を運ぶ**。
- * **地域を知る**。(地域資源の洗い出し)
- * **関係機関との十分な連携**。
- * **いつでも何処でも市民啓発**

問い合わせ先

- * 田原市 高齢福祉課 地域包括ケア推進室
- * 担当者 内藤喜久枝 山口訓世
- * メール koureifukushi@city.tahara.aichi.jp
- * TEL 0531-27-7980
- * FAX 0531-23-3545
- * 住所 441-3492
- * 田原市田原町南番場30番地1

本日はご清聴誠に
ありがとうございました。



キャベズウ